

明石市

国際協力海外レポート

前山 和（まえやま なごみ）【JICA 青年海外協力隊】

赴任地：マラウイ共和国リロングウェ県リロングウェ

職種：障害児・者支援

赴任期間：2023年7月20日～2025年3月20日（予定）



明石市の皆さんこんにちは！JICA ボランティアの前山和です。
生まれてから高校まで明石市の実家ですくすくと育ちました。その後も明石市に戻ってくるたびに帰ってきた・迎えてくれているという気持ちになります。特に明石海峡大橋は格別ですね！

いいところだらけの明石市に何か還元できないかと思い、今回この国際協力海外レポートを通して私の経験が明石市民の皆様の目に留まり海外や国際協力に興味を持ち、明石市から世界に羽ばたいていく人が増えるきっかけとなれば嬉しい限りです。

少しずつですが、マラウイでの生活をアップしていこうと思います。「こんなところなんだ」、「行ってみたい」などと気軽に見ていただければ幸いです。

今回は日本からマラウイまでの渡航、そして現地到着してすぐの風景などをざっくり紹介します！



明石市の実家を出て、成田空港へ。2023年7月19日午前に出発しシンガポールと南アフリカを経由して7月20日夕方マラウイに到着しました。

この小さな内陸国がマラウイです！明石市のように海はなくマラウイ湖と言われる大きな湖があります。マラウイ国土の4分の1を占めているそうです。

マラウイ上空で飛行機の中から外を見たときの感想は「茶色や～！笑」でした。初のアフリカ渡航、長旅でしたが無事到着しました。



飛行機の中から撮ったマラウイ上空写真



到着後、1 か月は首都リロングウェにある JICA のドミトリーで同期隊員と共同生活をします。ドミトリー前の道路の写真です。道路は穴ぼこだらけですが、毎日空が高くていいお天気です！！

ここは首都ですが高層ビルなどはなく、THE AFRICA を感じられます。

ドミトリー前の道路

子どもが私の携帯の音楽で踊っている写真です！渡航前は携帯の通信状況がよくないと聞いていたのですが、設定さえ頑張れば難なく使えます。最貧国ではありますが確実に発展はしていることを知った瞬間でもありました。



音楽にノッている子ども



ランチに行く途中で出会った子どもたちです。手を振るだけでなく踊って挨拶をしてくれました。この国の子どもはとてもフレンドリーです。時々、外国人の私を見て驚く子もいますが（笑）どこの国に行っても子どもたちは本当にかわいい！！

手を振ってくれる子どもたち

首都から少し離れると、人の賑わいはなくなり静かやかやぶき屋根の家などが点々とした風景が広がります。日本でも都会から離れると自然豊かな景色が広がっています。状況は違いますが、日本と同じだなと思うところもたくさんありました。



かやぶき屋根の家



一緒に遊んだ子どもたちと

この国には貧困、教育、資源などといった課題が山ほどあり、情報が溢れている日本でさえ得られなかったことや不確かだったことが、実際に目で見て耳で聞いて体で感じることで分かってきたことがたくさんあります。

これらのギャップを少しでもなくして、日本の皆さんに新しく確かなアフリカ・マラウイの情報を届けられたらなと思っています。

マラウイの概要、歴史、文化、生活習慣、私の配属先などの詳細はこれから私自身も体験しながらみなさんに共有していきますのでどうぞ楽しみに！！